

2020

4/1

April

No.344

市報 わまぐち



特集	令和 2 年度当初予算とまちづくりの概要	2
■	令和 2 年度 組織改編のお知らせ	8
■	市政トピックス	10
■	大野将平選手 東京 2020 オリンピック出場内定!	10
■	新型コロナウイルス感染症に備えて	11
■	中原中也賞	12
■	¡ánimo!SPAIN みんなでスペインを応援しよう!	13
■	県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	14

令和2年度当初予算と まちづくりの概要

「トライ未来創造」予算

当初予算の概要

一般会計予算総額

938億8千万円

- ☑ 対前年度比で37億円増(4.1%増)
- ☑ 未来を創造するための投資(投資的経費)は約208億9千万円を確保(対前年度比で約31億2千万円増(17.5%増))
- ☑ 国の補正予算第1号(農林水産業の成長産業化の加速、地方創生の推進強化、Society5.0*時代を担う人材投資等)に対応した補正予算を、令和2年3月(約5億4千万円)に編成、当初予算と一体的に13カ月予算を編成(総額 約944億2千万円)

◆今年度の当初予算の考え方

令和2年度は、「第二次山口市総合計画前期基本計画」の3年目となる中間年度であり、同時に「第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のスタートの年度となります。

現在、本市の人口は約19万5千人と、これまでの総合戦略における人口展望を数千人上回る水準で推移していますが、今後の来るべき本格的な人口減少時代に備え、本市の未来を確かなものとするための挑戦、トライを続けていく必要があります。

そこで、令和2年度当初予算を、令和の時代にふさわしい3つのトライを基調とした「トライ未来創造」予算と位置づけました。次世代のまちづくりにつながる基盤整備や事業展開を進め、「住んで良かった これからも住み続けたい山口市」と心から思えるまちづくりにトライします。

◆3つの「トライ」

「オール山口市の未来に向けたトライ」

本市の都市政策の柱である「広域県央中核都市づくり」と「個性と安心の21地域づくり」プロジェクトを積極果敢に展開し、山口市核と小郡都市核、そして市内21地域が、それぞれの特性と役割のもとで、ワンチームとなって、本市全体の発展を目指します。

「今の市民生活を豊かにするトライ」

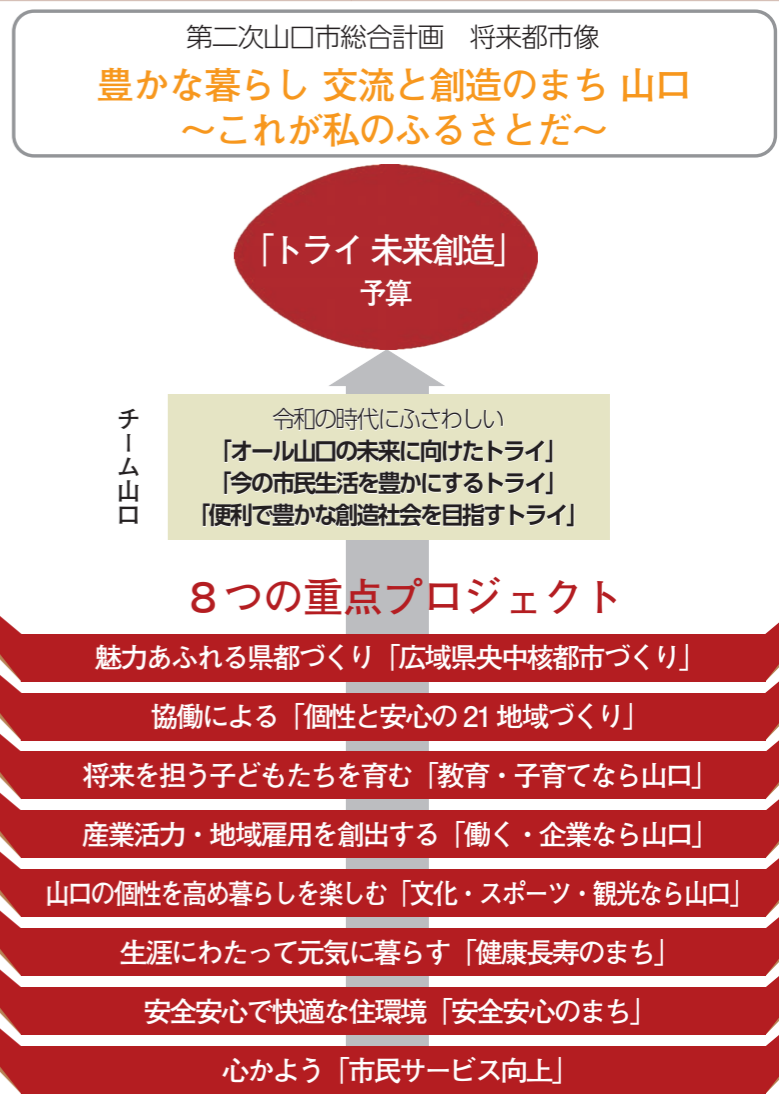
今の市民生活を豊かにし、安全安心を確保するための取り組みを、教育・子育て、産業振興、医療・介護、防災、交通、環境などの各施策分野において着実に進めます。

「便利で豊かな創造社会を目指すトライ」

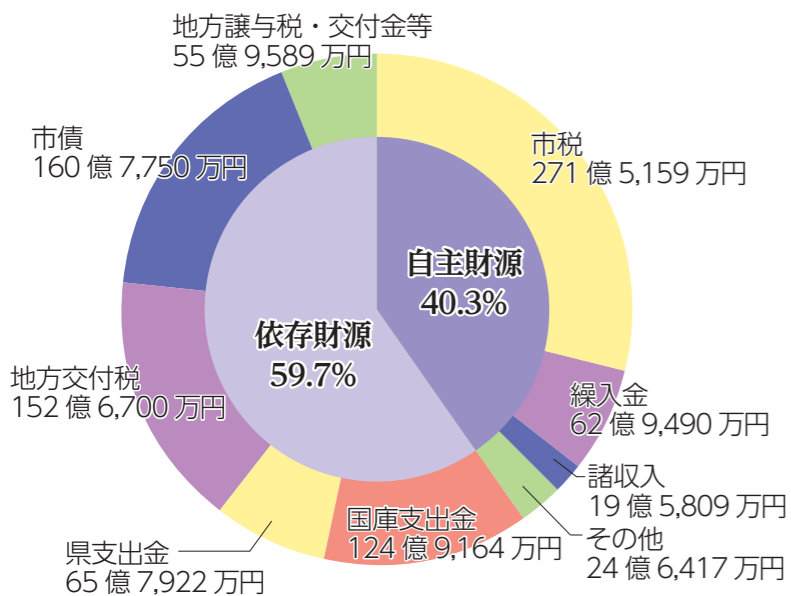
AI(人工知能)や5G(第5世代移動通信システム)などの革新的技術を活用した便利で豊かな未来社会「Society 5.0」*を見据えた対応を、本市の未来を担う「人材育成」と「社会基盤整備」を中心に進めます。

*人工知能やロボット等の革新的技術を活用した便利で豊かな未来社会

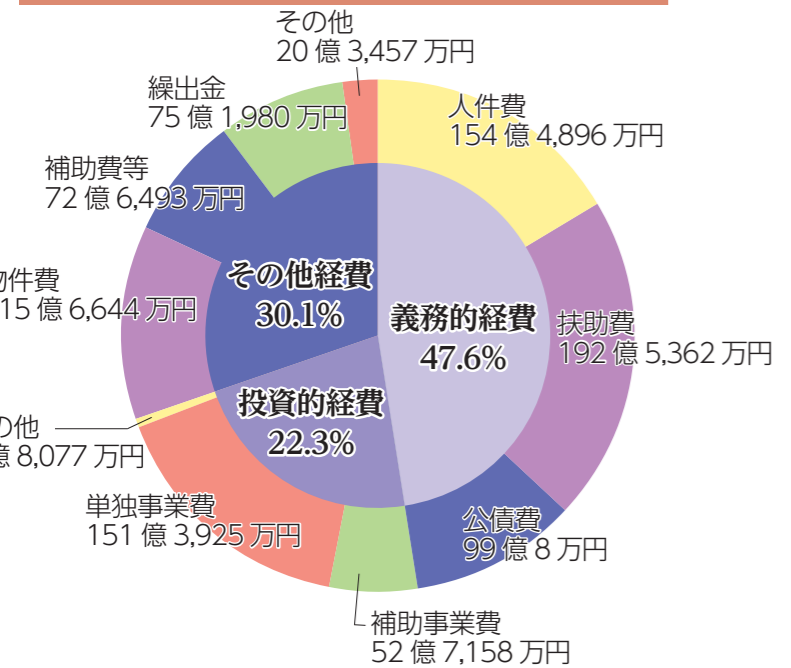
令和2年度当初予算のイメージ図



●一般会計歳入



●一般会計歳出



●特別会計の予算内訳

特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。

区分	当初予算額	対前年伸率
国民健康保険	200億1,510万円	▲3.2%
後期高齢者医療	32億7,246万円	7.1%
介護保険	183億9,716万円	▲2.8%
介護サービス事業	1,107万円	▲25.5%
駐車場事業	4,829万円	29.5%
鑄銭司第二団地整備事業	18億8,739万円	397.0%
地域下水道事業	675万円	4.9%
国民宿舎	900万円	▲30.8%
特別林野	3,703万円	▲20.3%
合計	436億8,425万円	▲0.1%

●一般会計歳入

市税は、国の制度改正に伴う税率引下げにより、法人市民税は約1億6千万円の減収を見込んでいますが、固定資産税は新増築家屋の増や企業の設備投資による償却資産の増などにより約3億4千万円の増収を見込むなど、市税全体では約2億6千万円増(1.0%増)となります。

度と同額を見込んでいます。特別交付税は、地方財政計画に基づき、約4千万円の増額を見込んでおり、全体で約4千万円増(0.3%増)となります。

●一般会計歳出

人件費は、退職者数の減少により退職手当は減となりますが、令和

2年度からの会計年度任用職員制度の開始に伴う関係経費の人件費への移行や期末手当の計上などにより、約8億6千万円増(5.9%増)となります。

扶助費は、幼児教育・保育の無償化に伴う経費の通年化やこども医療費の自己負担分無料化の対象範囲拡大に係る経費の通年化の影響などにより、約6億円増(3.2%増)となります。

投資的経費は、産業交流拠点施設整備や阿知須・徳地地域における総合支所と地域交流センター等の一

協働による 「個性と安心の21地域づくり」

ふるさとにぎわい計画の推進

各総合支所において、地域資源を活用し、地域経済活性化を図る「ふるさとにぎわい計画」に基づくプロジェクトを推進します。

小郡がつながる・つなげるプロジェクト 【2,039万円】

新山口駅を中心とした一帯を交流の核として、交流イベントの開催に向けたワークショップの実施などの実行委員会の活動支援を行います。

あいお海洋資源活用プロジェクト 【746万円】

秋穂荘、道の駅「あいお」等を交流の核とした海洋交流拠点づくりを進めるため、機能強化に向けた調査や天然車えびの定着促進事業、魚食の普及事業などを行います。

あとう農山村いきいきプロジェクト 【4,449万円】

道の駅「長門峡」を交流の核とした交流人口の拡大に向け、今年度は常徳寺庭園の保存整備の完了に伴う開園記念式典の実施、阿東地域のプロモーションビデオの制作、あとう和牛の増頭対策や野菜増産モデル事業、などを行います。

重源の里とくぢプロジェクト 【3,660万円】

奈良東大寺再建事業を行った俊乗房重源上人ゆかりの徳地地域では、東大寺に深い関係の深い全国14市町が集う「東大寺サミット」を開催します。また、特産品販売所「南大門」の機能強化に向けて、リニューアル工事を実施します。

きらら・あじすプロジェクト 【4,053万円】

道の駅「きらら あじす」を交流の核とした交流人口の拡大に向け、今年度は施設の増改築に係る基本設計や駐車場改良工事、また、イベントの開催、地域資源を活用した商品開発を行います。



▶令和元年度にリニューアルオープンした道の駅「長門峡」

地域を支える拠点づくり・協働によるまちづくり

阿知須・徳地エリアの地域交流拠点整備 【13億1,761万円】

老朽化が進む総合支所と地域交流センター、消防団車庫等を複合施設として一体整備します。令和4年度の供用開始に向け、今年度は建設工事に着手します。



▶徳地総合支所等の整備イメージ

地域の個性を活かす交付金事業 【3億9,171万円】

地域振興、地域福祉、安心安全などの各分野において、市内21地域が主体的に用途を決定できる地域づくり交付金を交付します。また、自治会等の自主的、持続的な活動の促進や法定外公共物等の整備に関する技術的な支援とあわせた補助を実施します。

持続可能な公共交通の構築

【4億6,992万円】

AIやIoT等の革新的技術を活用して、市民の移動手段の高度化・効率化を図ります。産業交流拠点施設から湯田温泉を始めとする山口都市核や市内全体への誘引につなげるため、交通流調査やMaaS*の構築に向けた研究調査など、県と連携した取り組みを進めます。また、市内10カ所程度にポートを設置し、スマートフォンやICカードで利用可能なシェアサイクルの実証事業を行うほか、運行情報などを表示する電子看板の設置や交通系ICカード利用システムの導入に向けた補助を行います。

*あらゆる公共交通機関を、ITを用いて断続なく結びつけ、人々が効率よく、かつ便利に使えるシステム。



▶シェアサイクル設置イメージ

外部人材活用事業 【8,600万円】

地域おこし協力隊の受入体制づくりを進めるとともに、三大都市圏の民間企業の社員を「地域おこし企業人」として受け入れ、そのノウハウやネットワークを生かして、地域独自の魅力や価値向上につなげます。

魅力あふれる県都づくり 「広域県央中核都市づくり」

山口都市核づくり ～山口県ナンバーワンの広域観光・文化創造都市づくり～

新本庁舎整備事業 【3億3,746万円】

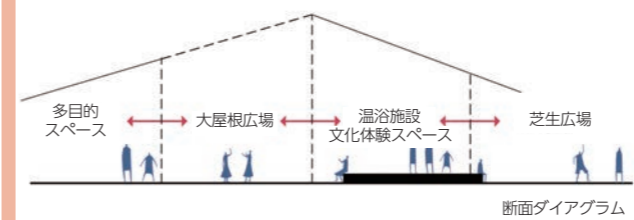
令和6年度の供用開始に向け、基本設計・実施設計・造成設計と交通量調査、ICT導入調査等を行います。

第3期山口市中心市街地活性化 基本計画の策定 【1,253万円】

中心市街地エリアの課題に対応するため、上記基本計画を策定します。前計画の事後評価や新たな検討事業の調査・効果予測を実施します。

多世代交流・健康増進拠点施設整備事業 【6,476万円】

湯田地域における、市民温泉機能、多様な交流機能、憩い・ふれあいの機能などを中心に、豊かな暮らしと豊かな交流を生み出す拠点施設の整備に向けて、今年度は基本計画の策定、基本設計を実施するとともに、地質調査、用地取得調査を実施します。



▶「多世代交流・健康増進拠点施設」配置イメージ図

中園町周辺地区整備事業 【2億2,700万円】

済生会山口総合病院周辺における病院へのアクセス性の向上のための市道糸米羽坂1号線の改良工事、中央公園におけるコンベンションやイベントの誘致を図るユニークベニュー空間とするための測量設計や公園内の給排水設備整備工事を行います。

スマートシティの構築に向けた調査検討 【1,000万円】

交通網・情報通信網の利便性向上や、エネルギーの効率化を始めとした都市の利便性や効率性の向上などのスマートシティの構築に向けた検討調査を行います。今年度は国のデジタル専門人材派遣制度の活用や電気通信事業者を始めとした民間企業との連携のもとで、本市におけるスマートシティの実証可能性を検討します。

小郡都市核づくり ～山口県ナンバーワンのビジネス拠点づくり～

産業交流拠点施設整備事業 【74億5,770万円】

令和3年4月の開館に向け、引き続き建設工事を進めるとともに、備品購入、開館準備業務、事業周知のための広報・イベント、竣工式を実施します。また、県や島津製作所等との連携により、市民を対象とした認知症や生活習慣病予防に向けた事業やヘルスケア関連事業を実施します。

産業交流スペース運営準備事業 【1,259万円】

産業交流拠点施設内に開設する産業交流スペースにおいて、次世代の産業人材の育成を行うこととしており、今年度は、開館準備として、産業交流スペースを周知するためのパンフレット等の作成、ウェブサイト・SNSの構築、イベント等を実施します。



▶新山口駅から見た山口市産業交流拠点施設の整備イメージ

新山口駅ターミナルパーク整備事業 【3億3,800万円】

9月完成に向けて新山口駅南口駅前広場の整備を進めるほか、市道矢足新山口駅線の道路美化・電線共同溝整備工事、新山口駅施設誘導案内板整備工事などを行います。

広域ネットワーク機能の強化 【8億4,714万円】

令和2年3月21日に開通した湯田温泉スマートインターチェンジの周辺道路整備や都市計画道路東山通り下矢原線の整備、湯田温泉ゾーンの外周道路の機能強化につながる一本松朝倉線の整備に向けた交通量調査、費用便益調査など、ネットワーク機能の強化に向けた取り組みを実施します。

山口の個性を高め暮らしを楽しむ 「文化・スポーツ・観光なら山口」

東京2020オリンピック・パラリンピック を契機とした地域活性化 【4,871万円】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催機運を向上させる取り組みとして、水泳スペイン代表チームの事前キャンプ受け入れ、聖火リレー、パブリック・ビューイングなどを実施します。また、東京2020パラリンピック競技大会における山口県聖火フェスティバルに向けて、山口市採火式を行います。



▶出場内定した卓球女子日本代表 石川佳純選手



▶出場内定した柔道男子日本代表 大野将平選手

山口ゆめ回廊博覧会プレ事業の実施

【2億6,430万円】

令和3年度に山口県央連携都市圏域の7市町で開催する「山口ゆめ回廊博覧会」のプレ事業を実施します。今年度は、本市のリーディングイベントとして、坂本龍一氏と高谷史郎氏への委嘱作品の特別展示プログラムをYCAMで実施するほか、音楽イベント「祈りの回廊音楽祭」を開催します。また、雪舟生誕600年の記念の年ともなることから、大内文化特定地域を中心に、イベント企画展を実施します。さらに、秋の収穫に着目した「(仮称)みんな大好き! KOMEZUKI祭」を開催します。

▶ KOMEZUKI祭の会場イメージ



生涯にわたって元気に暮らす 「健康長寿のまち」

救急車と医療機関との連携強化に向けたICT導入 【600万円】

救急車と医療機関それぞれにタブレット端末を配置し、搬送する傷病者の容態等の情報を迅速に共有できるシステムの構築により、救命率の向上に取り組みます。

NET119 緊急通報システムの導入

【5,992万円】

音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障がい者が、スマートフォン等を活用して自宅や屋外からの緊急通報が可能となるシステムを導入します。

総合病院の建て替え支援 【1億7,910万円】

総合病院山口赤十字病院と済生会山口総合病院の病棟等の建て替え支援を行います。

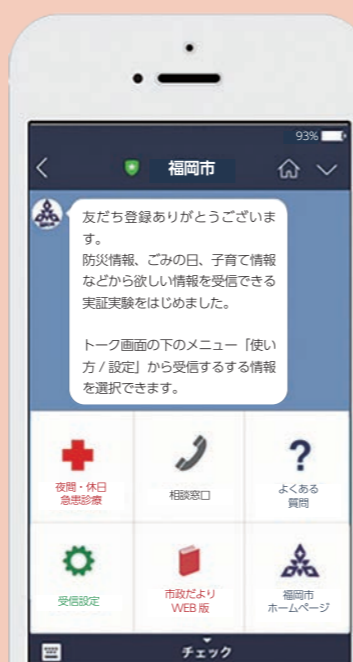
心かよう 「市民サービス向上」

▶スマートフォンを活用したサービスの提供イメージ (画像はLINEを活用した福岡市の情報配信イメージ)

「持ち運べる市役所」の実現に向けて

【1億9,996万円】

新本庁舎の供用開始にあわせたスマート自治体の取り組みを計画的、年次的に進め、インターネット環境があればどこでも市役所の手続きなどができる「持ち運べる市役所」の実現に向けた取り組みを進めます。今年度の主な取り組みとしては、LINEを活用した防災情報やイベント情報などの市政情報の配信、職員採用試験の申し込みがスマホでできるようになります。また、市県民税や水道料金など一部の納付に関して、スマホやパソコンで口座振替の申し込みができるサービスを開始します。市税等の納付については、昨年12月に開始した「PayB」「LINE Pay」に加え、4月から「PayPay」「楽天銀行」での納付が可能となります。さらに、入札事務の効率化等を図るため、令和4年4月からの電子入札導入に向けたシステム構築、事業者説明会などを実施します。



将来を担う子どもたちを育む 「教育・子育てなら山口」

中学生の入院に係る医療費を無料化

【3億9,558万円】

子育て世帯に対する経済的な支援として、これまでに小学6年生までの無料化を段階的に拡大してきましたが、10月からは新たに、中学1年生から3年生までの全ての子ども入院費に係る保険診療の自己負担分を無料化します。

保育園・放課後児童クラブの定員拡大

【59億6,189万円】

保育園等の保育施設の定員を248人拡大し、また、放課後児童クラブの定員を240人拡大して運営します。

情報教育環境整備事業

【1億812万円】

指導者用デジタル教科書の中学校への導入や、ICT機器の活用をサポートする支援員の配置など、これまで県内に先駆けて進めてきた小・中学校のICT教育環境づくりを引き続き進めます。



▶タブレットを用いた授業の様子

産業活力・地域雇用を創出する 「働く・起業なら山口」

新規就農者支援事業

【4,798万円】

現地就農体験、経営ノウハウ等の習得に向けた実践的な研修など新たな担い手を育成するために、研修生、指導農家などに対する資金支援を実施します。

畜産農家支援事業

【3,319万円】

市内産の肥育素牛の導入推進や、阿東地域の黒毛和牛の繁殖から肥育までの地域内一貫体制の確立に向けた、素牛導入費用等の一部を支援します。

森林経営管理事業

【6,856万円】

経営管理が行われていない森林について、市が仲介役となり、森林所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築し、担い手を探します。今年度は森林所有者の意向確認調査やICT機器の導入支援などに取り組みます。

事業承継支援事業

【1,000万円】

中小企業の後継者不足に対する重点的な支援として、相談体制の強化や専門家の派遣、合同セミナーの開催、無料相談会等を実施します。

未来技術活用促進事業

【500万円】

市内企業が山口県央連携都市圏域内の企業等と連携して取り組む5G、IoT、AI、ロボットなどの革新的技術を活用した新商品や新サービスの開発などに対して支援を行います。

鑄銭司第二団地の整備

【18億8,660万円】

鑄銭司地域で整備を進めている新たな産業団地「鑄銭司第二団地」について、実施設計、用地取得を進めるとともに、団地造成工事・周辺整備工事を実施します。

安心快適住まいる助成事業

【1億5,400万円】

良質な住宅環境づくりとリフォームを契機とした更なる市内消費喚起の促進に向け、市内施工業者を利用した住宅リフォーム工事費用の一部を市内共通商品券により助成します。

安全安心で快適な住環境 「安全安心のまち」

デジタル防災行政無線等整備事業

【8億5,635万円】

秋穂・阿知須・徳地・阿東地域の防災行政無線の整備工事を行います。あわせて、いち早く防災情報を伝える手段の一つとして、LINEを活用した配信サービスを夏頃に開始します。

大型水槽車の配備

【7,285万円】

大規模災害や特殊災害に備え、大型水槽車を導入配備し、水利が不足する地域や高速道路等の火災に対し、火災の延焼抑制と早期の火災鎮圧に向けた機能強化を図ります。



▶大型水槽車のイメージ

令和2年度 組織改編のお知らせ

少子高齢化や人口減少などさまざまな課題への対応をはじめ、AIなどの革新的技術やICTの利活用推進、産業交流拠点施設整備などの重点事業の推進体制の強化を図るため、4月1日付けで組織の一部を改編します。主な内容は次のとおりです。 **☎総務課 ☎083-934-2909**

山口ゆめ回廊博覧会の開催準備



令和3年度に山口県央連携都市圏域の7市町を会場に開催する「山口ゆめ回廊博覧会」に向けた推進体制を強化します。

令和2年度は、事業企画や関係者調整などの開催準備を行うとともに、博覧会に向けたプレ事業に取り組みます。

☎山口ゆめ回廊博覧会推進室 ☎083-934-4152

改称 交流創造部県央博覧会準備室を山口ゆめ回廊博覧会推進室へ改称

産業交流拠点施設整備による新たな交流や活力の創出



現在、新山口駅北口に「山口市産業交流拠点施設」の建設工事を進めているところです。この拠点施設の整備により、小郡都市核において山口県ナンバーワンのビジネス拠点づくりを進め、コンベンションの誘致、産業支援などを通じた新たな交流と賑わいを山口都市核をはじめとした市内全域に広げるよう令和3年4月の開館に向けて準備を進めます。

☎新山口駅拠点施設整備推進室 ☎083-934-2676

移管 新山口駅拠点施設整備推進室を都市整備部から経済産業部へ移管

上下水道業務に係る組織体制の整備



上下水道事業の経営戦略に基づく施設のマネジメントの推進、将来の人口減少に備えた経営の効率化を図るための組織体制を整備するとともに、水道・下水道の料金管理業務、合併処理浄化槽および排水設備等の窓口を、新設する業務課に集約し、お客様サービスの一本化を進めます。

☎業務課 ☎083-933-6667

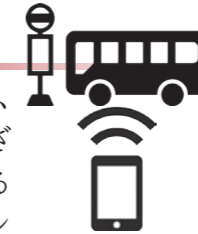
消防業務の高度化に伴う体制強化



消防業務の高度化に伴い、消防自動車、機械器具等の整備、保全に関する業務を一括で行うため、警防課に消防車両担当を新設するとともに、救急救助業務の増加や災害出動の増加に対応するため、救急救助課の救急救助担当を、救急担当と救助担当に分割します。

☎警防課消防車両担当 ☎083-932-2618
☎救急救助課救急担当・救助担当 ☎083-934-2604

スマートシティの推進



交通、産業、エネルギー、観光、地域活性化などさまざまな社会的課題の解決を図るため、AI、IoT（モノのインターネット）などの新たな技術やデータを活用したまちづくりに加えて、地方創生総合戦略に基づく Society5.0 への対応、都市核づくりに一体的に取り組みます。

☎スマートシティ推進室 ☎083-934-2728

新設 総合政策部内にスマートシティ推進室を設置



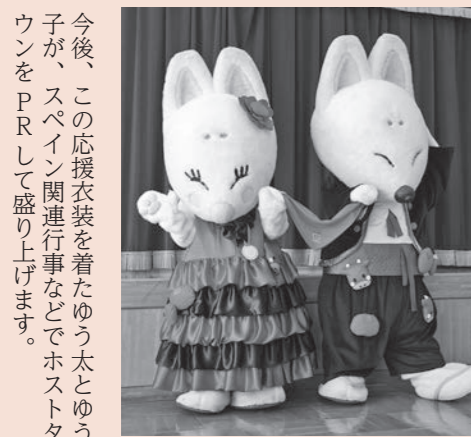
スマート自治体の推進



スマートフォンなどの ICT（情報通信技術）端末を活用した電子申請サービスの提供、タブレット等を活用した書かない窓口の実現等を進め、市民の利便性向上、効率的な行政運営の推進に取り組みます。また、5G などの高速・大容量無線の利用が可能となるような環境整備の促進やオープンデータの拡充など、地域全体のデジタル化を目指します。

☎情報企画課 ☎083-934-2991

改称 総務部情報管理課を情報企画課に改称



今後、この応援衣装を着たゆう太とゆう子が、スペイン関連行事などでホストタウンをPRして盛り上げます。

表紙の写真
「ステキな衣装ができました！」
表紙の写真は、本市のご当地キャラクター、ゆう太とゆう子が山口大使幼稚園でスペイン応援衣装をお披露目したときのひとコマです。
この衣装はホストタウンになつていてるスペインを応援するため、中村女子高等学校の服飾を学ぶ生徒にデザイン・制作していただいたもので、闘牛士やフラメンコのダンサーをイメージした衣装には、牛追い祭りの「牛」やトマト祭りの「トマト」をあしらうなど、スペインらしさが随所にちりばめられたデザインになつています。
お披露目会でゆう太とゆう子が登場すると、園児たちは「かわいー！」と歓声を上げて喜び、笑顔で駆け寄り歓迎しました。

安心快適住まいる助成事業



住宅リフォームを市内業者（本社・本店が市内）により工事する場合に、市内共通商品券で助成するものです。詳しくはふるさと産業振興課まで。
☎083-934-2719

▼募集期間 6月1日から8月31日まで（予算がなくなり次第終了）。

▼留意事項 18歳以下の子どもを養育する子育て世帯は、助成率15%、助成上限額30万円。

▼対象工事 交付決定通知書発行以降（6月15日以降）に工事を開始するもので、令和3年1月31日までに工事が完了できるもの。

住宅環境の向上と、個人消費促進による市内経済の活性化を目的に、令和2年度も安心快適住まいる助成事業を実施します。住宅リフォームを市内の業者（本社・本店が市内）により工事する場合に、市内共通商品券で助成するものです。詳細は今後ウェブサイトで公開します。

安心快適住まいる助成事業
6月募集開始



ウェブサイトでも公開中

キリン「タップ・マルシェ」に 山口地ビール製品が仲間入り

新しいクラフトビールの楽しみ方を提案するキリンビール(株)の「タップ・マルシェ」に、本市の企業である山口地ビール(株)が製造する「瀬戸内ヴァイツェン」が新たに取引扱われることとなり、2月10日(月)、両社の代表者が市長を訪問されました。



訪れた両社の代表者との記念撮影

「タップ・マルシェ」は、「マルシェ(市場)」のように、個性豊かで多様なクラフトビールを気軽に楽しんでもらう場を提供するためにキリンビールが取り組んでいるもので、その取り扱う28銘柄の中に、中国・四国地方としては初めて山口地ビールが製造する「瀬戸内ヴァイツェン」が選ばれました。

取り扱いはすでに始まっており、「タップ・マルシェ」取り扱い店から銘柄を選定され、多くの方に提供されるのが期待されています。

☎ ふるさと産業振興課 ☎ 083・934・2812

市スポーツ特別表彰・市スポーツ協会表彰合同表彰式を開催

2月14日(金)、山口総合支所で「山口スポーツ特別表彰」と「山口市スポーツ協会表彰」を行いました。市スポーツ特別表彰は、国際大会で優秀な成績を収められ、本市のスポーツ振興に貢献された方を表彰するものです。また、市スポーツ協会表彰は、市スポーツ協会に加盟する個人・団体で各種競技において優秀な成績を収められた方や、長年、協会の役員や加盟団体の役員としてスポーツの振興・発展に尽力された方を表彰するものです。今年度は、市スポーツ特別表彰を4人に、市スポーツ協会表彰の功労賞を10人、奨励賞を30人と4団体に授与しました。

市長は、「本市ゆかりの若きアスリートの活躍は、市民に大きな感動と勇気を与えてくれる。大きく飛躍することを期待している」と述べました。

☎ スポーツ交流課 ☎ 083・934・2875



受賞者との記念撮影

一人ひとりができる対策を知っておこう～ 新型コロナウイルス感染症に備えて

中国武漢市において、昨年12月以降、新型コロナウイルス感染症の発生が報告され、世界各国からも発生が報告されています。国内でも患者発生が複数確認され、県内でも令和2年3月3日に患者発生が確認されました。

しかし、県内で感染がまん延しているわけではありません。感染拡大を防止するためには、過剰に心配せず、落ち着いて通常の感染症対策を行うことが大切です。

※この情報は3月15日時点のものです。

☎ 健康増進課 ☎ 083-921-2666



1 確認ポイント

日常生活のなかで 気を付けること

- ・発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休む。
- ・発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。
- ・高齢者や持病がある方は、できるだけ人の多い場所を避けるなど、より一層注意する。
- ・石鹸やアルコール消毒などによるこまめな手洗いや、咳エチケットの徹底を心がける。



2 確認ポイント

新型コロナウイルス感染症 が疑われる場合

下記の症状がある場合は、**受診する前に必ず**、最寄りの保健所(帰国者・接触者相談センター)に相談しましょう。

- ☑ **チェック**
- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様)
 - ・強いだるさや息苦しさがある方

※高齢者や基礎疾患のある方は、上の状態が2日程度続く場合には相談する。
※妊婦の方は、念のため、早めに相談する。



3 確認ポイント

相談窓口

● **感染症に関する相談**
【帰国者・接触者相談センター(山口健康福祉センター)】
▶ 受付時間 平日9時～17時
※緊急を要する場合は、土日含め24時間対応。
▶ 電話番号 ☎ 083-934-2533

【厚生労働省】
▶ 受付時間 平日・土日・祝日 9時～21時
▶ 電話番号 ☎ 0120-565653

● **適切な窓口の紹介・取り次ぎ**
【山口市総合電話窓口】
▶ 受付時間 平日8時30分～17時15分
▶ 電話番号 ☎ 083-902-5699

【新型コロナウイルス感染症】より詳しく知りたい方は、市ウェブサイトをご覧ください。

山口市 コロナウイルス 検索

【市内中小企業への支援】詳細は、市ウェブサイトをご覧ください。

市内中小企業の皆様へ 検索

【消費生活に関すること】詳細は、市ウェブサイトをご覧ください。

山口市 新型コロナウイルスに便乗した悪質商法や詐欺 検索

大野将平 選手 東京2020オリンピックへの出場内定！

2月27日(木)、本市出身の大野将平選手が東京2020オリンピック柔道男子(73kg級)日本代表に内定しました。この夏、世界の大舞台で2016年リオデジャネイロ五輪に続く金メダル獲得を目指す大野選手を、オール山口で応援しましょう。 ☎ スポーツ交流課 ☎ 083-934-2874

聖火ランナー
大野将平選手が
山口市を駆ける！

大野選手からのメッセージ

いつも応援ありがとうございます。二度目の集大成として、山口市の皆様に良い報告ができるように、しっかりと準備をします。

大野 将平

●大野 将平 (おおの しょうへい)
1992年2月3日生まれ。山口市吉敷出身。天使幼稚園、良城小卒。7歳の時に松美柔道スポーツ少年団に入団。現在は旭化成に所属。

東京2020オリンピック聖火リレーは、3月26日に福島県を出発し、5月14日(木)に山口市に引き継がれます。その聖火ランナーの1人として大野選手が本市を走ります。聖火を間近で見られるチャンスです。この機会に聖火ランナーに声援を送りませんか。

▶ **スタート**
19時19分 香山公園

▶ **ゴール**
20時00分 中央公園

※詳細は市ウェブサイトで検索、または右QRコードから。

中原中也賞

受賞者決定

中原中也賞は、日本の近代詩史に足跡を残した本市出身の詩人、中原中也の業績を永く顕彰するために創設した文学賞です。

第25回となる中原中也賞は、2月に
行われた選考会において、平成30年12
月1日から令和元年11月30日までに刊
行された現代詩の詩集224点の中
から、水沢なおさんの『美しいからだ
よ』に決定しました。

受賞者には、正賞として中原中也ブ
ロンズ像と、副賞として100万円



水沢なお

1995年、静岡県生まれ。武蔵野美術大学卒。
大学1年生の頃より詩作をはじめ。2016
年、第54回現代詩手帖賞受賞。2019年、
第1詩集『美しいからだよ』(思潮社)を上梓。

選考委員評

1月に開催された推薦会において最
終候補作品の7冊が選ばれ、選考会の
対象とされた。

水沢なおの詩集は、かぎりなく小説
に近い物語が描かれている。会話体で

を贈呈します。また、4月29日(水・祝)
に第25回中原中也賞の贈呈式と原史氏
(放送大学教授)による記念講演を
開催する予定です。
☎文化 交流課 ☎083・934・
2717

受賞者コメント

高校生の頃、国語の授業が楽しみでした。
白髪交じりで背の高い先生は、いつもひょ
うひょうとしていて、冗談をいうように
文学の楽しみ方を教えてくださいました。
詩の授業中、先生は「世の中で一番美
しいのは詩です。詩だけです」といいま
した。咄嗟にえ、と小さく声が出て、薄い
ガラスが水の重みで砕けたような衝撃を
受けたことを、今でも思い出すことがで
きます。

大学生になり、詩作をはじめました。詩
は美しいのか、ことばで確かめるように、
そして地層を掘り起こすようにしてうま
れたのが『美しいからだよ』という詩集
です。
わたしは美しいものが好きです。そして
詩を美しいと思います。
これからもひたむきに、ことばと向き
合っていきたいと思います。この度はこ
のような素晴らしい賞をくださり、本当
にありがとうございました。

詩句が進み、そのなかで自分の薄い存
在感を際立たせてくる。これは現在の
日本の社会を描くのに、最も効果的な
手法であったらう。それと同時に、
「私を戦わせて/私を戦わせて/私を
戦わせて/私を戦わせて」と連呼する
佳作「私を戦わせて」があり、薄く存
在感がどのようにこの社会を生きてい
くのか、読者に勇気を与えてくれる作
品もある。
わたしたちは現在、物語と詩との接
点、その境界の見極めが難しい時代に
生きている。選考会ではそのことが話
題になり、ポエジーの行方を見定める
上で、水沢なお『美しいからだよ』が
持つ未完成性と、作者が未来をつつこ
うとしているその可能性に賭けること
にした。

ちょっと
紹介！
作品の世界
「モーニング」

「ダイヤになって」
と御願ひされたから、頷きました。
それから黙って私の首元を撫でた、短く横
に広い爪。やわらかい急所を無防備に晒す
とむしろ強くなったような気がするから彼
の前にいると私はどんなに強くなる。
私をダイヤにしてあなたはどうしたいんだ
ろうか、たずねても答えてはくれななさそ
うだった、私、あなたの指の上で、一生眠っ
ていられたら幸せだって思います。
ダイヤになったあなたをもってピクニック
に行きたかった、水苔の上で燃える炎を食
べ、あらゆるものに名前を付け、呼ばれた
ことのないものをかきいしく呼んでゆき
たかった、すべてのものは透明になるとい
うのなら、ダイヤになったあなたを、通り
すがりの取るに足らない、知らない誰かに
あげてしまいたかった。あなたを誰かにあ
げたかったあなたを誰かのものにしてあげ
たかった。

―受賞作品『美しいからだよ』所収
「モーニング」より抜粋



水沢なお
『美しいからだよ』
(思潮社)

アニモ ¡ánimo!SPAIN みんなでスペインを応援しよう！

※ ¡ánimo! はスペイン語で「頑張れ」という意味



ホストタウンとは

東京 2020 オリパラに向けて、グ
ローバル化や地域の活性化などの
ために人や経済、文化などを通じ
て交流を行う自治体のことです。

山口市は、フランシスコ・サビエルによって、日本で初めて
キリスト教が布教されたと言われていいます。そのサビエルの
故郷ナバラ州の州都であるパンプローナ市と姉妹都市であること
から、本市はスペインのホストタウンになりました。

そして今年はいよいよ、東京 2020 オリンピック・パラリンピ
ックが開催されます。今月からオリンピック開催の7月まで、本市の
ホストタウンとしての取り組みをご紹介します。

☎国際交流課 ☎083-934-2725

今年2月19日、パンプローナ市との姉妹都市締結40周年を迎
え、その記念事業としてスペインの食に関連したイベントを行
いました。今回は、その様子をお知らせします。

「美食の地」バスク

パンプローナ市は、フランス南部にまたがるバスク地方に
位置し、世界的に「美食の地」と称されるバスク地方の
食材がそろい、食文化が豊かなまちです。2月
15日(土)、16日(日)にバスク地方の食材を
試食・試飲できる「美食バスク in 山口」と、近
年日本で「バスチャー」として人気のある「家庭
でもつくれるバスクチーズケーキづくり講座」
を開催しました。来場者や参加者の皆さんには、
世界でも有名なバスク地方の食文化の魅力を楽
しんでいただきました。



「美食バスク in 山口」で
振舞われた食材の数々



とってもおいしい！と好評だった
バスクチーズケーキづくり講座

スペイン給食 day



スペイン給食を
楽しむ児童たち

2月19日(水)に、本市とスペインとの深い関係
を知ってもらうため、市内の全市立小中学校で
「スペイン給食 day」を実施しました。各学校では、ス
ペイン料理をイメージした給食が出され、子どもたちは
スペインの食文化を楽しみました。

また、国際交流員のエフラインが大殿小学校を、マリ
アは平川中学校を訪問し、山口市とパンプローナ市の歴
史や現在の交流について講座を行い、小中学生がスペ
インについて理解を深めました。

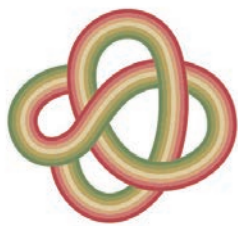


講座を行う国際交流員のマリア

レシピを公開中！

バスクチーズケーキやスペイン給食のレシピは市ウェブサイトで公開しています。ぜひ
ご家庭でも「スペイン料理 day」を開催してみてください。





山口県央連携都市圏域

山口ゆめ回廊

YAMAGUCHI YUME KAIRO

山口県央連携都市圏域内の4月のおすすめおでかけスポットを紹介。さらに多くの情報は右のQRコードから。



美祢市 萩市 津和野町
山陽小野田市 宇部市 山口市 防府市

美祢 Mine 秋吉台ジオパークセンター karstar

開放感あふれるガラス張りの平屋に、観光案内所や秋吉台を一望できる休憩スペース、カフェを完備。新緑の秋吉台を眺めながら、おいしいコーヒーやシャーベットを食べませんか。

営業時間 通年 9時～17時

定休日 年末年始

所属 Mine 秋吉台ジオパークセンター「karstar」(秋芳町秋吉11237-862)

☎ 0837-63-0040

萩 萩八景遊覧船運行

萩城跡横をスタートし、堀内地区から平安古の旧田中別邸先でUターンし玉江を眺める、約40分のコースです(定員12人/隻)。

期間 11月30日(月)まで
9時～16時

場所 堀内～橋本川(指月橋そば、萩城跡入り口付近)

料金 大人1200円、小人600円(団体割引あり)

問 萩市観光課
☎ 0838-25-3139

津和野 津和野川

津和野川沿いに桜並木が続きます。桜を見ながらウォーキングに出かけませんか。夜桜のライトアップも4月10日(金)頃まで予定しています。

見頃 3月下旬～4月上旬

場所 津和野大橋周辺(後田)

駐車場 近隣にあり(有料)

交通アクセス 自転車で20分、石見交通バス長野行きで6分

問 津和野町商工観光課
☎ 0856-72-0652

山陽小野田 江汐公園

山陽小野田市の花「ツツジ」。江汐公園では、約5万本の各種ツツジが毎年、園内を色鮮やかに彩ります。

見頃 4月中旬～下旬

場所 江汐公園(大字高畑字西山根401-1)

駐車場 約620台(無料)

交通アクセス 山陽自動車道小野田ICから約5分/船鉄バス江汐公園停留所から徒歩5分

問 山陽小野田市都市計画課
☎ 0836-82-1162

宇部 ふじごうち 藤河内茶園

山口県産のお茶の9割を生産する藤河内茶園。小高い丘に広がる茶畑は、一カ所にまとまっている茶園として、西日本随一の面積を誇ります。展望台からみえる景色は360度の絶景です。

見頃 4月中旬～5月下旬

場所 藤河内茶園(藤河内)

交通アクセス 宇部ICより車で30分

問 宇部市農林振興課
☎ 0836-67-2819

防府 大平山山頂公園

4つの広場があり、アスレチック遊具やコンビネーション遊具等が設置してあります。5月には約10万株のツツジが見頃を迎えます。

見頃 5月中旬(時期の前後あり)

場所 大平山山頂公園(大字牟礼)

駐車場 山頂90台

交通アクセス 徳山西IC・防府ICより車で25分

問 防府市都市計画課
☎ 0835-25-2159

新たな気持ちで

うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。

この度の新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた学校等の臨時休業や、イベント中止などの本市の対応に対し、市民の皆様や事業者、関係者の皆様方には、多大なる御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。引き続き、終息に向けて万全の体制で臨んでまいります。

さて、4月を迎え、夢や希望を胸に、新しい環境での生活に決意も新たにされておられる方も多いことと思います。

先般、卓球の石川佳純選手に続き、東京2020オリンピック柔道男子日本代表に内定されました、本市出身の大野将平選手の「五輪2連覇」に懸ける決意も、我々市民に勇気を与えてくれます。

本市では、こうした市民の皆様や本市にゆかりのある皆さんが、「これが私のふるさとだ」と胸を張れるようなまちづくりを目指し、今年度もさまざまな事業に挑戦します。皆さんも、新年度を機にフレッシュな気持ちで、仕事や趣味、運動など、目標に向かって共にトライしてまいります。

山口市長

渡辺純志



あしたへトライ

